

第3学年 音楽科 学習指導案

日時：平成30年10月4日（木）5校時

学級：3年A組 男子13名 女子12名 計25名

授業者：高橋 香織

- 1 題材名 「曲想を味わいながら声部の役割を考え、音色や強弱を工夫して表現しよう」
教材名 「旅立ちの日に」混声三部合唱

2 題材について

(1) 題材観

本題材は学習指導要領におけるA 表現（1）ウ「声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと」と、[共通事項]ア「音色、旋律、テクスチャ、強弱」等にかかわる題材である。

教材曲の「旅立ちの日に」は、無理のない音域で歌いやすく、斉唱、混声二部、混声三部の声の重なりによる響きと後半のかけ合いによる響きも美しい。本題材では、声部が増えていくことによって生まれる和声感や声部の役割を知覚し、それらがもたらす全体の響きの豊かさを感受しながら音楽表現を工夫する力を高めていきたいと考え、本題材を設定した。

(2) 生徒観

歌唱教材に取り組む際は、声部の役割を考えたり、曲想を言葉で表現したりする活動を行っている。授業では、主旋律、副旋律を歌い比べたり、構成ごとに声部の役割を意識させてきた。しかし、声部の役割を意識して歌唱表現を工夫することは未だ不十分である。また、生徒は、パートごとに協力しながら曲想を工夫して表現するために話し合っているが、語彙力の不足や表現することに慣れていないため、自分の思いを正確に相手に伝えたり、相手の思いに深く共感できなかつたりする様子が見られた。

そこで、楽譜を手がかりとしながら根拠を明確にし、パートの役割を意識させて音楽表現を工夫する活動を行ったり、よりの確な言葉で曲想などを表現するため、語彙表を用いながら、パートで話し合う活動を意図的に設定したりすることで、よりの確な言葉で自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いに共感したりできるように指導を行っていきたい。

(3) 指導観

本題材では、声部の役割を意識して、歌唱の工夫に生かせるよう曲から感じられるイメージ、思い、意図などを言葉で相互に伝えあい、仲間と共にそれらを表現する喜び・楽しさを味わわせたい。

また、歌ったり楽譜で確かめたりしながら、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、「どのように音楽表現をしたいのか」という思いや意図を話し合い、まとまった考えを実際に歌って表現する場面を設定する。

指導の際は、まず、曲の構成（斉唱・混声二部・混声三部）ごとに旋律の役割について理解を深めさせる。そして、各パートがそれぞれの役割をより良く表現するために、どのような工夫をすれば良いかを楽譜を手がかりにしたり実際に歌って試したりしながら考えさせる。その際、音色、強弱に着目し、合唱を通して表現の工夫ができるようにしていきたい。

3 題材の目標

- (1) 声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、声部の役割を意識して、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとする。 【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) ①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながらその関わりについて考えている。
②声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うか

- について思いや意図をもつ。 【音楽表現の創意工夫】
- (3) 声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために、音色や強弱等を工夫しながら必要な技能を身に付けて歌う。 【音楽表現の技能】

4 指導計画

時間	学習活動	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の旋律を聴き取り、旋律の役割を感じ取る。 (1) 前半の部分をパート練習する。 (2) 前半の部分の主旋律を明確にとらえさせ、主旋律と副旋律の役割について二部合唱を通して意見交換をし実践する。 (3) 正確な音やリズムで歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、声部の役割を意識して、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 <p style="text-align: right;">【音楽への関心・意欲・態度】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の旋律を聴き取り、旋律の役割を感じ取りながら表現の工夫をする。 (1) 後半の部分をパート練習する。 (2) 後半の部分の各声部の役割について男声と女声の二部合唱を通して意見交換をしながら歌う。 (3) 全員で三部合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながらその関わりについて考えている。 <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p>
3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を手がかりに、パートの役割を考えながら強弱や音色を工夫して歌う。 (1) 後半を歌う。 (2) かけ合いの所の男声パートを省略して歌い、かけ合いの場合と比較する。 (3) 楽譜にかけ合いの良さについて記入し歌い方について考える。 (4) 楽譜を見て感じたことを発表し、パートの役割を考えて全員で歌ってみる。 (5) 前奏の部分と「2.」の部分の伴奏を聴く。 (6) 全員でパートの役割を考えて強弱や音色を工夫して三部合唱する。 (7) パートの役割についてどんな工夫をして歌ったか音色・強弱を手がかりにまとめる。 (8) 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのようにあわせて歌うかについて思いや意図をもっている。 <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために、音色や強弱を工夫しながら必要な技能を身に付けて歌っている。 <p style="text-align: right;">【音楽表現の技能】</p>

5 本時の指導

(1) 目標

- ・合唱表現や楽譜を手がかりに、声部の役割と全体の響きとの関わりを考えながら歌唱表現を工夫する。
- ・パートの役割を意識して、音色と強弱を工夫しながら合唱表現する。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準	
	おおむね満足できる (B)	努力を要する生徒への手立て
音楽表現の創意工夫	・声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	・机間巡視しながら、各声部の役割は何かを楽譜を手がかりに歌って試しながら考えさせる。
音楽表現の技能	・声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために、音色や強弱を工夫しながら必要な技能を身につけて歌っている。	・音色や強弱の工夫を聴いて、一緒に歌って試しながら確かめる。

(3) 研究主題との関わり

本時では、特に本校で取り組む言語活動の充実の「①体験から感じ取ったことを表現する」、「⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる」に重点を置いた。授業では、楽譜を手がかりとしながら声部の役割を考え、実際に歌ったり意見を発表したりしながら、各声部にふさわしい歌唱表現を工夫する学習活動を行う。この中で、各声部の役割と全体の響きの関わりを理解し、役割に合わせて歌唱表現を工夫しようとする中で、生徒の表現力の向上につながると考える。

(4) 本時の展開 ※ (言) → 中心となる言語活動

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点 (◎評価)
導入 5分	1 本時の学習について確認する	1 本時の学習内容に関する説明を聞く	・前回の学習から主旋律、副旋律の確認をする
	2 前半を歌う	2 女声と男声の役割の違いを意識して歌う	
【学習課題】 楽譜を手がかりに、パートの役割を考えながら強弱や音色を工夫して表現しよう			
展開 40分	3 後半を歌う	3 前回の学習から、和声感や雰囲気を感じ取りながら歌う	・前回の学習から雰囲気を感じ取りながら歌う
	4 かけ合いの所の男声パートを省略して歌う	4 男声パートは女声パートに沿って歌う	・先ほどの合唱との雰囲気の違いを感じ取る
	5 楽譜通り歌う	5 歌いながら、4との違いを感じ取る	
	6 楽譜にかけ合いの良さについて記入し、歌い方について考える	6 かけ合いになることで強調するための歌い方を考える	・強弱や音色に注目する
	7 楽譜を見て感じたことを発表しながら、全員で歌ってみる	7 強弱や音色の工夫を発表し、全員で歌ってみる (言) (1) 生徒の意見を聞く (2) それについて歌って確かめる (3) 生徒と反対の意見を提案し歌って確かめる (4) 「この広い～」の <i>cresc.</i> について考えて歌ってみる (5) 「大空に」の歌い方について考	・楽譜を見て、各声部にふさわしい表現をまとめる。 ◎ 【音楽表現の創意工夫】 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのようにあわせて歌うかについて思いや意図をもっている (方法：発言内容・学習プリント)

		えて歌ってみる	◎【音楽表現の技能】 声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために、音色や強弱に着目し、必要な技能を身に付けて歌っている (方法：演奏の聴取) ・曲の生まれた背景の説明や、ピアノで演奏したのを聞いて「なぜそう感じたか」ということを中心に発表することができるようながす
	8 前奏の部分と「2.の部分の伴奏を聴く	8 前奏の部分と「2.の部分の伴奏の所で、この曲が生まれた背景の説明なども聞き、全体をイメージする	
	9 全員で合唱する	9 今までの学習をいかし全体を通して歌う	
終 末 5 分	【まとめ】パートの役割を考えながら、工夫して歌うことで曲のどんな良さを表現できたかまとめる		
	10 本時のまとめ	10 この曲を通して、パートの役割についてどんな工夫をして歌ったか、音色・強弱を手がかりにまとめる	・プリントへ本時のまとめを記入する
	11 学習の振り返り	11 本時の授業を振り返る	

(5) 板書計画

旅立ちの日に 小島登作詞 坂本浩美作曲 松井孝夫編曲

学習課題 「楽譜を手がかりに、パートの役割を考えながら強弱や音色を工夫して表現しよう」

今、別れの時～
かけ合いの良さ 未来への希望を感じる・決意を感じる・躍動感を感じる
どのように工夫したら良いか 力強く歌う・はっきりうたう・アクセントを付けて歌う

この広い～
trscの仕方について 言葉が重なるごとに広がっていく

大空に
どのように工夫したら良いか 優しくうたう・やわらかくうたう

前奏、「2.」についてイメージしたこと
思い出を振り返りながらうたう
希望を持って歌う

振り返り 「パートの役割を考えながら、工夫して歌うことで曲のどんな良さを表現できたか(できるか)をまとめる」
強弱・音の重なり